目次

著作権

商標について

Apple、Mac および Macintosh は、Apple Inc. の登録商標であり、Microsoft、Windows 98、Windows 98 SE、Windows 2000、Windows Millennium Edition、Windows XP および Windows Vista は、Microsoft Corporation の登録商標です。本書に記載されているその他の商標は、関連各社に帰属します。

変更について

本書に記載されている情報は参考のみとして提供され、予告なく変更することがあります。本書の作成にあたっては正確さを期していますが、本書に掲載された情報の誤謬または記載漏れに起因する、あるいは本書に記載する情報を利用した結果により生じる損害に対して、当社は一切の責任を負いません。当社は、無条件で製品の設計または製品マニュアルの変更や改訂を予告なく実施する権利を保留します。

カナダ適合規定

本クラス B デジタル機器は、カナダ干渉発生機器規定 (Canadian Interference-Causing Equipment Regulations) のすべての要件を満たしています。

FCC Statement

LaCie LaCinema Rugged
FCC 規格による適合試験に合格(For Home or Office Use)

本デバイスは、FCC 規則のパート 15 に準拠しています。操作は次の条件に基づきます。

1. 本デバイスは有害な電波障害の原因となってはならない。
2. 本デバイスは誤動作の原因となる妨害を含め、受信する妨害を許容しなければならない。

注記：本機器は、FCC 規則 Part 15 に定められた クラス B デジタル装置に関する規制要件の試験に合格し、同規則に準拠することが証明されています。これらの規定要件は、住宅に設置する際、有害な干渉から適切に保護するために定められています。本機器は、無線周波数帯域のエネルギーを発生し使用するもので、これを放射する場合もあります。また、本取扱説明書の指示に従って設置および利用しない場合、無線通信に有害な干渉をもたらす場合があります。ただし、特定の設置方法において干渉が発生しないという保証はありません。本機器がラジオ、テレビの受信に有害な干渉をもたらす場合 (これは本機器の電源のオン/オフにすることにより判断できます)、次の方法により干渉の解決を試行することをお勧めします。

- 受信アンテナの向き、または位置を変える。
- 本機器と受信機の距離を離す。
- 受信機が接続されているものとは異なる別系統のコンセントに、本機器を接続する。
- 販売代理店または経験豊かなラジオ/テレビ技術者に相談する。

LaCie の承認を受けずに本機器に変更または修正を加えると、FCC およびカナダ適合規定に違反し、ユーザーは本機器を操作する権利を失うことがあります。

CE 認証に関するメーカーの宣言

当社は、本機器が以下の欧州規格に準拠していることを明言します。クラス B EN60950、EN55022、EN55024、EN61000-3-2：2000、EN61000-3-3： 2001

下記条件に関して：73/23/EEC 低電圧指令、89/336/EEC EMC指令

注意:メーカーの承認を受けずに本機器に修正を加えた場合、ユーザーは本機器を操作する権利を失うことがあります。

本製品または梱包箱に示されたこの記号は、本製品を他の家庭廃棄物と一緒に廃棄してはならないことを意味します。電気・電子製品廃棄物のリサイクルを行う所定回収場所に該当機器を持ち込んで処分するのは、ユーザーの責任です。他のゴミと分別して、機器廃棄物の回収や再利用を行うことで、自然資源の保護に役立ち、人々の健康や環境を保護するような形でリサイクルできるようになります。使用済み機器をリサイクルする際の回収場所に関する詳細は、地方自治体の家庭廃棄物担当部署または本製品を購入された販売店へお問い合わせください。

注意:上記の注意事項を遵守しないことによって生じた障害については、LaCie LaCinema Rugged の保証対象外となります。

健康および安全性の注意

❖ 本デバイスの保守作業は、有資格者のみが行えます。

❖ デバイスの設定にあたっては、本ユーザー マニュアルを十分に読み、正しい手順に従ってください。

❖ デバイスを開けたり、分解または改造しないでください。感電、火災、ショート、有害な放出などの危険を避けるために、デバイスに金属物を挿入しないでください。LaCie LaCinema Rugged に同梱されたハードディスクには、お客様ご自身で修理可能な部品は一切含まれていません.誤作動を起こしているように見える場合は、有資格の LaCie テクニカル サポート担当者 による点検を受けてください。デバイスを雨に晒したり、水の近く、または湿気の多い場所、濡れた状態で使用しないでください。LaCie LaCinema Rugged の上には、中に液体の入ったものを置かないでください。液体がこぼれ、装置の開口部から液体が中に入る恐れがあります。これにより、感電、ショート、火災、けがなどの危険性が高まります。コンピュータおよび LaCie LaCinema Rugged の電気アースが取られていることを確認してください。デバイスのアースを取っていないと、感電の危険性が高くなります。電源要件は、100-240 V~、1.5 A、60～50 Hz となっています (過電圧カテゴリ II に従って、供給電源の変動範囲は公称、過渡過電圧の ± 10% 以内に収まるようにしてください)。

一般的な使用上の注意

❖ LaCie LaCinema Rugged は、温度 5°C-30°C、動作湿度 5~80% (結露なし)、保管湿度 10~90% (結露なし) の範囲内で使用し、その範囲外の温度や湿度には晒さないでください。指定範囲外で使用すると、損傷したり、ケースが変形することがあります。また、熱源の近くに置いたり、直射日光 (窓越しの直射日光も同様) に当てないでください。逆に、極端に低温の場所または湿気の多い場所に置くと、損傷する恐れがあります。

❖ 落雷の恐れがある場合、または長時間使用しない場合は、必ず LaCie LaCinema Rugged のプラグをコンセントから抜いてください。プラグを差し込んだままにすると、感電、ショート、火災の危険性が高まります。

❖ デバイスに同梱されている電源装置のみを使用してください。

❖ LaCie LaCinema Rugged の上に重いものを載せたり、過度の負荷をかけないでください。

❖ LaCie LaCinema Rugged に過度の負荷をかけることは避けてください。問題に気づいた場合は、本書の「トラブルシューティング」を参照してください。

注意:FCC の定める電波規制に適合し、さらに周辺のラジオやテレビ受信に干渉を引き起こさないよう、必ずシールド タイプの電源コードを使用してください。必ず、付属の電源コードのみを使用してください。

動作環境温度

❖ LaCie LaCinema Rugged は、気温 5℃〜30℃ の条件下で操作してください。それ以上、またはそれ未満の温度下では使用しないでください。ハイエンド オーディオ／ビジュアル デバイスである LaCie LaCinema Rugged は、効率の良い換気システムを採用して設計されています。過熱を防ぐため、LaCinema Rugged の周囲には通気用に 5 cm の隙間ができるようにしてください。図 A を参照してください。

❖ LaCie LaCinema Rugged を TV、VCR、DVD プレーヤーなど他のオーディオ/ビジュアル デバイスと積み重ねないでください。他のオーディオ／ビジュアル デバイスも十分な通気が必要で、同様の使用上の注意が適用されます。図 B を参照してください。

重要な情報:本製品の使用中に生じたデータのいかなる損失、改悪、破壊は、お客様ご自身の責任であり、いかなる場合であっても当社はそのデータの回復または修復について責任を負いません。データの損失を避ける手段の 1 つとして、データのコピーを 2 部取ることをお勧めします。例えば、1 部を外付けハード ディスクに取り、もう 1 部を内部ハード ディスクや別の外付けハード ディスク、またはリムーバブル ストレージ メディアに取ります。LaCie では、CD、DVD およびテープ ドライブの豊富な製品ラインを提供しています。バックアップに関する詳細は、当社 Web サイトをご覧ください。

重要な情報:1GB は 10億バイトです。1TB は、1000 GB です。フォーマット後に実際に利用可能なストレージ容量は、動作環境によって異なります (通常 5 〜 10% 減)。

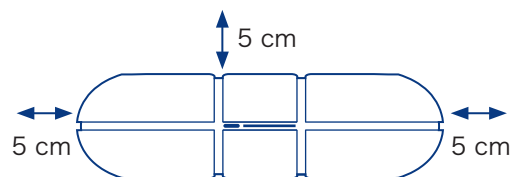



図 A

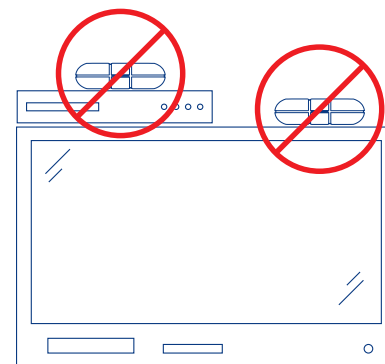



図 B

1. はじめに

LaCie LaCinema Rugged をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。持ち運び可能な LaCie LaCinema Rugged は、多様なオーディオ/ビジュアル装置に直接つないで、保存したムービー、音楽、写真を簡単に再生することができます。また、高品質のビデオやオーディオによって、パフォーマンス上の妥協を許しません。

まず、お使いの Mac または Windows コンピュータからムービー、音楽、写真を LaCie LaCinema Rugged に転送します。後は LaCie LaCinema Rugged をご家庭のテレビにつなぐだけで、付属のリモコンを簡単に操作しながら音楽や写真、ムービーをお楽しみいただけます。

LaCie LaCinema Rugged を使うと、MPEG-1、MPEG-2 (AVI、VOB、IFO、ISO) および MPEG-4 (AVI、XviD) ビデオ フォーマットから選択して簡単に再生できます。

特長

- ❖ テレビに直接接続しムービー、音楽、写真を簡単に再生
- ❖ マルチメディアの移動:ムービー、写真、音楽を友人の家や旅先にも持ち運べる
- ❖ 展示会やキャンペーンのエンターテイメント センターとして使用

クイック リンク

トピックをクリックします:

- ❖ マルチメディア ファイルのアップロード
- ❖ LaCinema Rugged
- ❖ マルチメディア ファイル

1.1. システム要件

Windows をご使用の方

- ❖ Intel Pentium II 500MHz 以上のプロセッサ
- ❖ Windows 2000、XP、または Vista
- ❖ 256MB 以上の RAM
- ❖ USB インタフェース ポート
- ❖ インターネット接続 (アップデートのダウンロード用)

Mac をご使用の方

- ❖ G4 以上または Intel Core Duo
- ❖ Mac OS X
- ❖ 256MB 以上の RAM
- ❖ USB インタフェース ポート
- ❖ インターネット接続 (アップデートのダウンロード用)

対応フォーマット - すべてのユーザー		
Video (ビデオ)	Photo (写真)	Audio (オーディオ)
❖ MPEG-1 ❖ MPEG-2 (AVI、ISO、IFO、VOB)* ❖ MPEG-4 (AVI、XviD) ❖ 対応字幕フォーマット:SUB、SRT、SMI、SSI	❖ JPEG (最大 8MP) ❖ BMP ❖ PNG ❖ GIF	❖ WMA ❖ MP3 ❖ MPEG-4 (AAC) ❖ AC3 ❖ OGG
対応ビデオ出力: ❖ コンポジット ビデオ:NTSC/PAL ❖ コンポーネント ビデオ:アナログ yPbPr (プログレッシブまたはインタレース、最大 1920x1080i または 1280x720p までスケーラブル) ❖ HDMI (最大 1080i)		対応オーディオ出力: ❖ デュアル ステレオ アナログ オーディオ (左右) ❖ オプティカル SPDIF

* Mac OS:DVD ビデオ機能は VOB/IFO (Video_TS folder) でサポートされます。DVD ISO ファイル サイズは 4GB 以内になります。FAT32/MS-DOS ファイル システムは、4GB より大きいファイルはサポートしていません。HFS+ ファイル システムはサポートされていないため、HFS+ ファイル システムでフォーマットしないでください。

1.2. パッケージ内容

LaCie LaCinema Rugged パッケージには、システム タワーと以下の品目を含むアクセサリ ボックスが含まれています。

1. LaCie LaCinema Rugged
2. リモート コントロール
3. AAA 乾電池 2 本
4. ビデオ コンポジット + ステレオ ケーブル
5. HDMI ケーブル
6. SCART 出力アダプタ
7. USB ケーブル
8. 外部電源装置
9. クイック インストール ガイド
10. LaCie Utilities CD-ROM (ユーザー マニュアルとソフトウェア収録)

重要な情報:購入時の梱包材は保管しておいてください。製品の修理または点検が必要になった場合、必ず製品の包装箱に梱包してご返送ください。

1.3. 言語

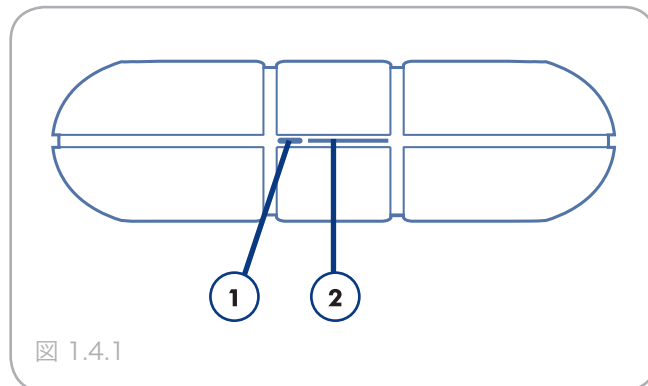
対応言語

- 英語
- フランス語
- ドイツ語
- イタリア語
- スペイン語
- ポルトガル語
- ギリシア語
- ポーランド語
- ロシア語
- スウェーデン語
- フィンランド語
- デンマーク語

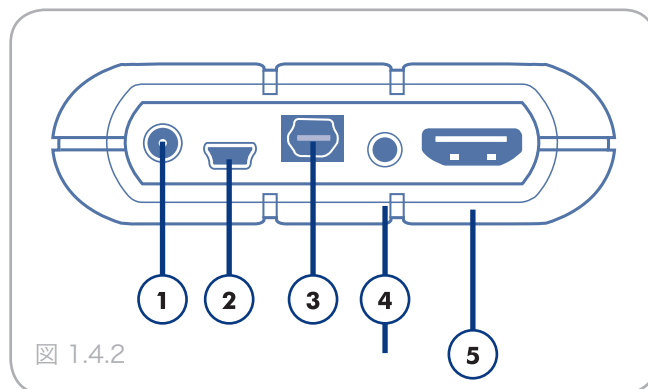
1.4. LaCinema Rugged の外観

1.4.1. 正面図

1. ディスク ステータス LED - ライトの点滅によりディスクの動作が示されます。
2. 赤外線受信機 - リモート コントロールからの赤外線信号を受信します。受信機を妨害するものがないことを確認してください。

図 1.4.1

1.4.2. 背面図

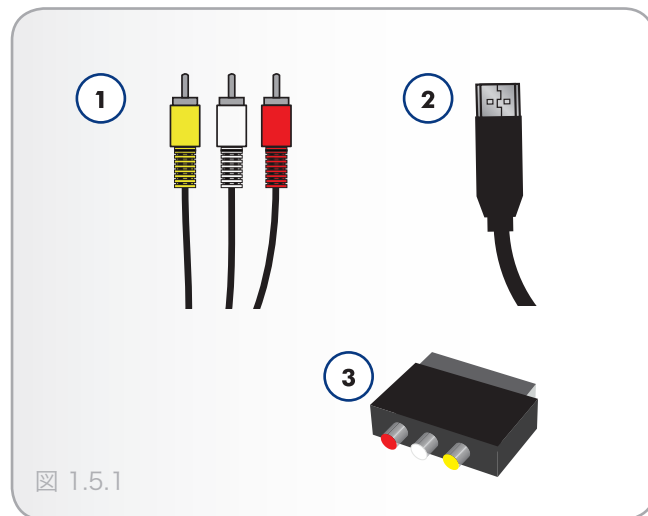
1. 電源コネクタ
2. USB ポート
3. オプティカル オーディオ S/PDIF
4. ビデオ コンポジット + ステレオ コネクタ
5. HDMI コネクタ

図 1.4.2

1.5. ケーブルおよびコネクタ

1.5.1. A/V (オーディオ/ビデオ) ケーブル

A/V ケーブルを使って、オーディオおよびビデオ信号をステレオやテレビに転送します。LaCie LaCinema Rugged は、以下の A/V 標準に対応しています。

1. コンポジット ビデオ/ステレオ オーディオ – これは左 (白色) および右 (赤色)のステレオ オーディオ入力と同様、標準のビデオ接続 (黄色) です。テレビに SCART コネクタのみが装着されている場合は、お近くの小売店からアダプタを購入して、コンポジット ビデオ/ステレオ オーディオ プラグを SCART に接続できます。
2. HDMI (ハイ デフィニション マルチメディア インタフェース) – これは、LaCinema Rugged を HDTV に接続するために最適なオーディオ/ビジュアル メソッドです。
3. SCART 出力アダプタ – テレビの SCART コネクタに LaCinema Rugged を接続するのにこのアダプタを使用します。

図 1.5.1

1.5.2. USB ケーブル

USB は、周辺装置とコンピュータを相互に接続するためのシリアル入力/出力テクノロジーです。Hi-Speed USB 2.0 は、この規格の最新の実装であり、ハード ディスク、CD/DVD ドライブ、デジタル カメラなどの高速デバイスをサポートするために必要な帯域とデータ転送速度を提供します。

付属 USB ケーブル

Hi-Speed USB 2.0 ポートに接続したときに最大のデータ転送パフォーマンスを確保するために、LaCie LaCinema Rugged には Hi-Speed USB 2.0 ケーブルが付属しています。ケーブルは USB ポートに接続した場合も機能しますが、ディスクのパフォーマンスは USB 1.1 の転送速度に制限されます。

技術面での注意:Hi-Speed USB 2.0 データ転送速度を得るには、Hi-Speed USB 2.0 ホスト インタフェースに接続する必要があります。それ以外のインタフェースを接続すると、USB 1.1 のデータ転送速度に制限されます。

Hi-Speed USB 2.0 の利点

- 下位互換性：Hi-Speed USB 2.0 は、初代 USB 仕様でも動作します。
- ホットプラグ可能：デバイスを追加または取り外すときに、コンピュータをシャットダウンしたり再起動する必要がありません。

USB ケーブルの両端子

2. マルチメディア ファイルのアップロード

2.1. LaCie LaCinema Rugged をコンピュータに接続する

1. USB ケーブルを LaCinema Rugged とコンピュータに接続します (図 2.1)。
2. コンピュータの USB ポートで十分な電力が供給されない場合は、LaCinema Rugged がオンになる電源に接続する必要がある場合があります。
3. 数秒すると、コンピュータ (Mac の場合はデスクトップ、Windows の場合は [マイ コンピュータ] フォルダ) に LaCinema Rugged アイコンが表示されます。

「2.2.ファイルを LaCinema Rugged に転送する」を参照してください。

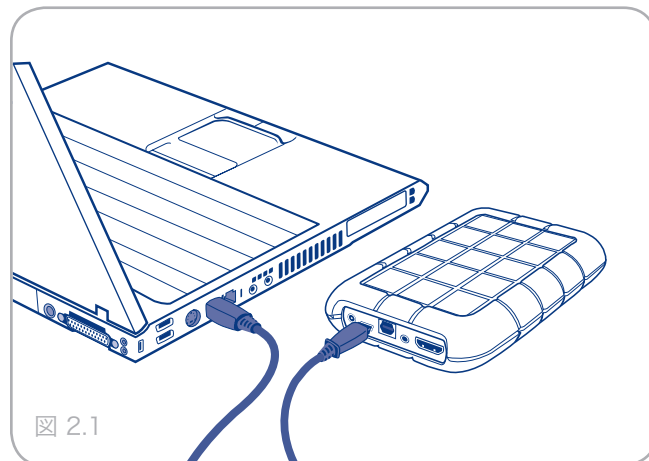



図 2.1

2.2. ファイルを LaCinema Rugged に転送する

2.2.1. マルチメディア ファイルのアップロード

LaCie LaCinema Rugged がコンピュータに認識されたら、音楽や写真、ビデオを転送することができます。ファイルを追加するには、追加するファイルを適切なフォルダにドラッグ アンド ドロップするだけです。自在にフォルダを整理できます。

フォルダからファイルを削除するには、ファイルを ［ごみ箱］ にドラッグします。

ファイルを転送した後で、LaCinema Rugged とその電源装置を安全に取り外してください。詳細については、「2.3.LaCie LaCinema Rugged の接続を解除する」を参照してください。

重要な情報:LaCie LaCinema Rugged からファイルを削除する場合は、ごみ箱にファイルを入れたあと、必ずごみ箱を空にする必要があります。ファイルがごみ箱に残っていると、ファイルへの参照が残り、ハード ディスク領域を占有します。

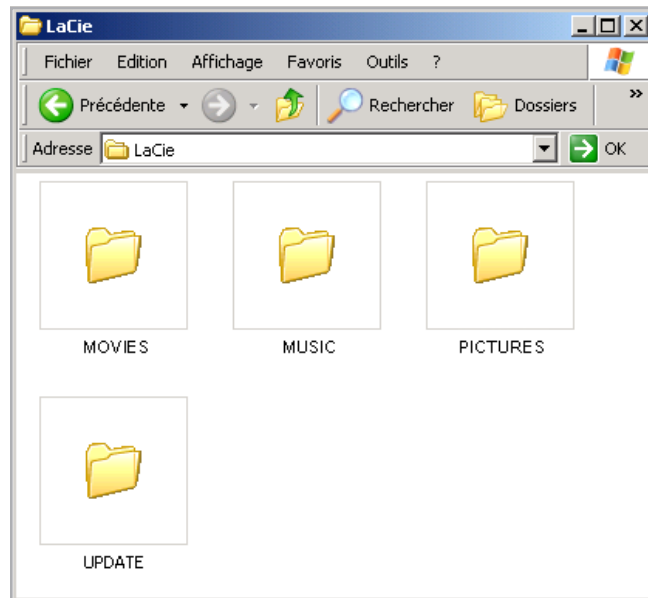



図 2.2.2

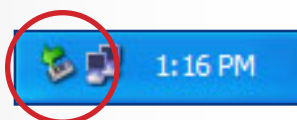
2.2.2. データ ファイル ストレージ

LaCie LaCinema Rugged では、通常のデータ ファイルを保存することもできます。ストレージのハード ディスクに別のフォルダ (たとえば“Backup”) を作成し、ファイルをそこにドラッグ アンド ドロップするだけです。

2.3. LaCie LaCinema Rugged の接続を解除する

外付け USB デバイスには「プラグ アンド プレイ」接続性が備わっているため、コンピュータの実行中にハード ディスクを接続したり、取り外すことができます。ただし、故障を防ぐため、LaCie ハード ディスクを取り外すときには次の手順に従ってください。

Windows をご使用の方

1. 画面右下にあるシステム　トレイから、[ハードウェアの安全な取り外し] アイコン （ハードウェアの上に小さい緑色の矢印が描かれたイメージ） をクリックします。
2. このアイコンが管理するデバイスを一覧表示した「...を安全に取り外します」というメッセージが表示されます。このプロンプトで LaCie ハードディスクをクリックします。
3. ここで、「ハードウェアを安全に取り外すことができます」という （またはこれに類似した） メッセージが表示されます。以上で、ハード　ディスクを安全に取り外せます。

Mac をご使用の方

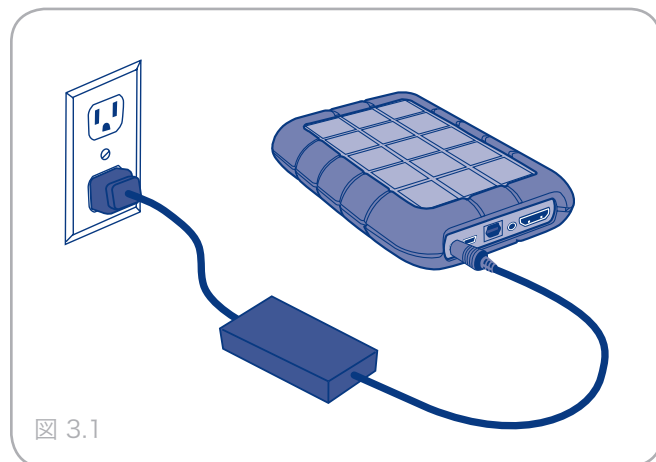
1. LaCinema Rugged ハード ディスク アイコンをごみ箱にドラッグします。(以下の図は一般的な USB デバイス アイコンです。ディスクの形をしたアイコンで表される場合もあります。)
2. デスクトップからアイコンが消えたら、ディスクを取り外せます。

3. LaCie LaCinema Rugged をテレビに接続する

LaCie LaCinema Rugged は、テレビだけに接続することも、テレビとステレオに接続することもできます。

3.1. 電源接続

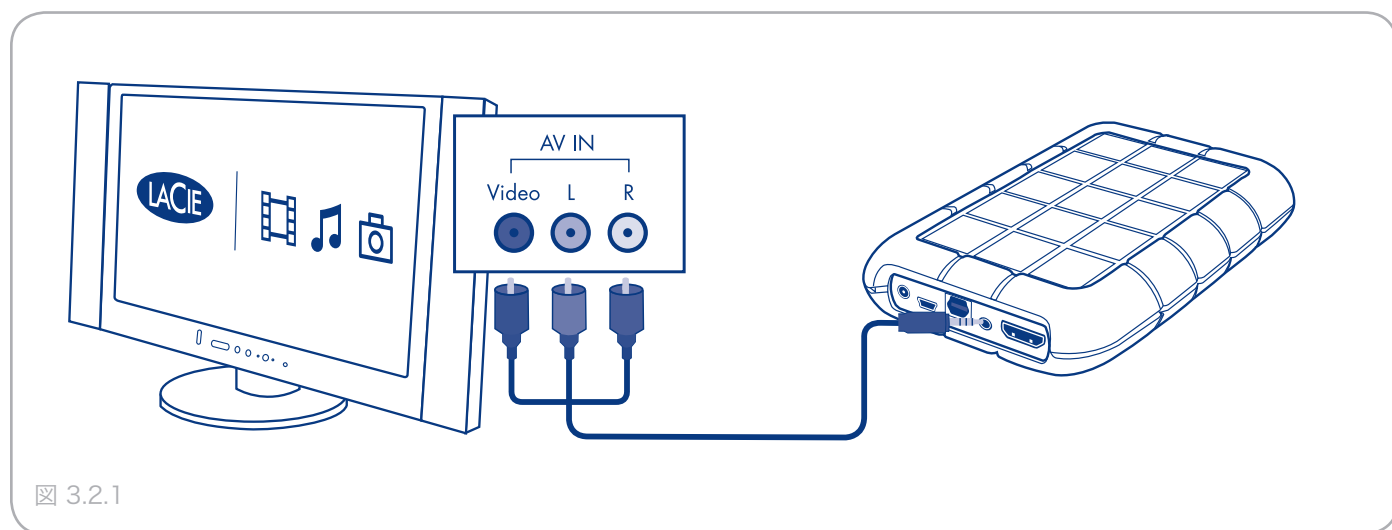
外付け電源を LaCinema Rugged と アースを取ったコンセントにつなぎます (図 3.1)。

図 3.1

3.2. オーディオ/ビデオ接続

3.2.1. コンポジット ビデオ & ステレオ オーディオ ケーブル

LaCinema Rugged をステレオ オーディオおよびコンポジット ケーブルを通してテレビに接続するには、「3.1.電源接続」の説明に従って LaCinema Rugged の電源を入れて、以下の図に従います。

重要な情報:LaCie LaCinema Rugged をテレビとコンピュータの両方に同時に接続することはできません。

図 3.2.1

3.2.2. SCART 出力アダプタ

テレビの SCART コネクタに LaCinema Rugged を接続するには、同梱の SCART アダプタを使用します。 セクション「3.1. 電源接続」の説明に従って LaCinema Rugged の電源を入れ、 以下の図に従います。

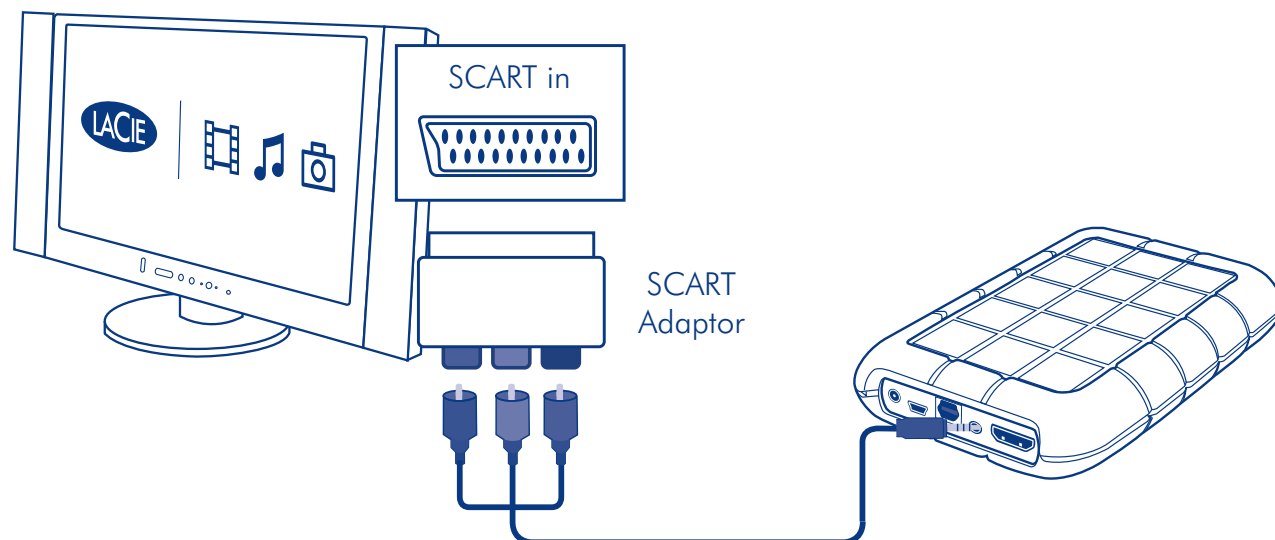



Fig. 3.2.2

3.2.3. HDMI ビデオ ケーブル

LaCinema Rugged を HDMI ビデオを経由してテレビに接続するには、「3.1.電源接続」の説明に従って LaCinema Rugged の電源を入れて、以下の図に従います。

接続したら、[Gear (ギア)] ボタン を押します。[Video (ビデオ)] メニューを選択すると、必要な場合はテレビの解像度に合わせてビデオ出力解像度を 720p から 1080p の間に調整できます。

技術面での注意:デフォルトでは、LaCinema Rugged は Composite Video Out (コンポジット ビデオ出力) モード (黄色のコネクタ) モードに設定されています。HDMI モードに切り替えるには、リモコンの電源ボタンを使って LaCinema Rugged をオンにし、[Info (情報)] ボタンを押します。

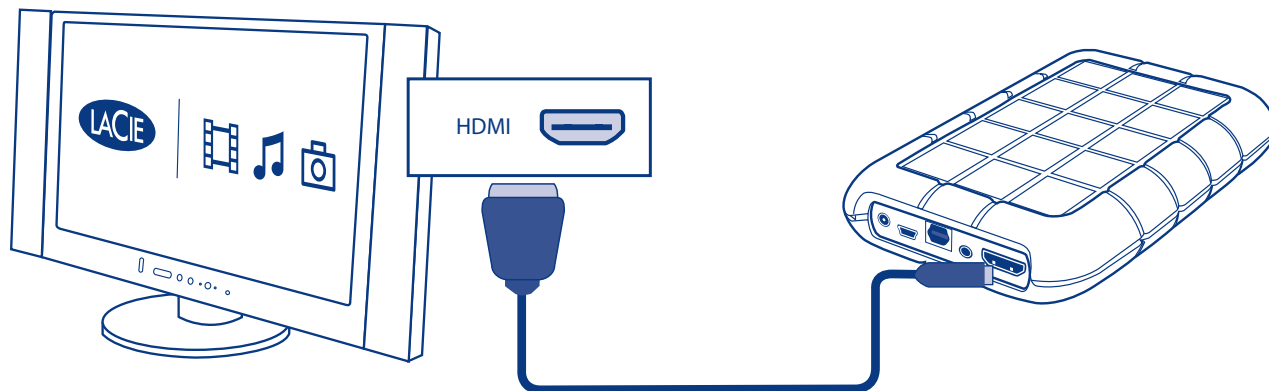



図 3.2.3

3.2.4. オプティカル接続

このケーブルを使用すると、LaCinema Rugged をデジタル オーディオ アンプに接続できます。「3.1.電源接続」の説明に従って LaCinema Rugged の電源を入れて、以下の図に従います。

重要な情報:セットアップ メニューで、デフォルトのアナログ オーディオでなくデジタル オーディオを有効にしていることを確認してください。セクション「5.5.2. テレビ モード」を参照してください。

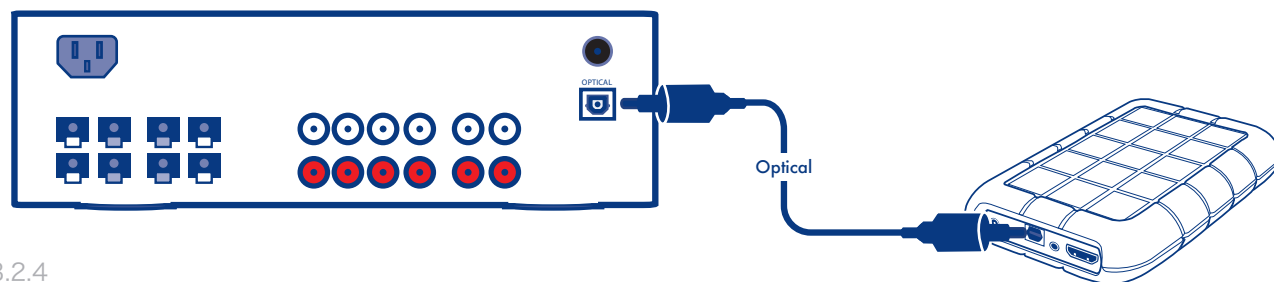



図 3.2.4

4. リモート コントロールの使用

リモコンのボタンのいくつかは、表示するファイルの種類によって機能が異なったり、あるいはまったく機能しない場合があります。この章では、各ファイルの種類　(ムービー、音楽、写真)　によるボタンの機能および電池の取り付けについて説明します。

4.1. 電池の取り付け

リモコンには 2 つの AAA 電池を使用します。製品出荷時に電池は装着されていないため、リモコンを使う前に電池を取り付ける必要があります。

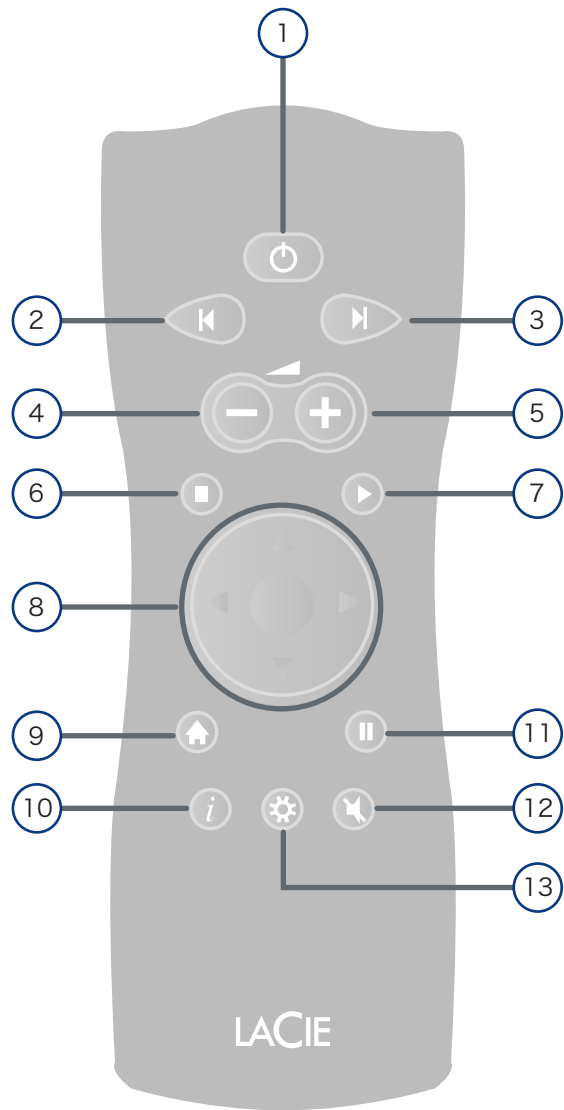
電池を取り付けるには､次の手順に従います｡

1. 電池カバーを取り外します。
2. 電池を電池ホルダーに入れます。電池の + 極と、電池ホルダーの + マークが合うように電池の向きを確かめて入れます。
3. 電池ホルダーをリモコンにスライドさせてしっかりとはめます。

重要な情報:長時間リモコンを使用しない場合は、電池を取り外すようにしてください。

4.2. リモート コントロールのキー インデックス

LaCie LaCinema Rugged のリモコンを使って、テレビやホーム シアター センターに接続した LaCie LaCinema Rugged を操作することができます。

ボタン	機能
1. Power (電源)	電源オン/オフ
2. Next (次へ)	次の曲にスキップ
3. Previous (前へ)	前の曲に戻る
4. Volume down (ボリューム ダウン)	音量を下げるよう調節
5. Volume up (ボリューム アップ)	音量を上げるよう調節
6. Stop (停止)	現在のファイル再生を停止
7. Play/Select (再生/選択)	選択したファイルを再生/選択を確認
8. Direction (方向)	❖ 右と左のボタン:メニューで移動 ❖ 上と下のボタン:リストでスクロール
9. Home/Now playing (ホーム/現在再生中)	メイン メニューに戻る/「現在再生中」の曲に移動
10. Info/ contextual menu (情報/コンテキスト メニュー)	情報とオンスクリーン メニューを表示
11. Pause/Play (一時停止/再生)	再生を一時停止
12. Mute (無音)	音の出力をオフにする
13. Setup (セットアップ)	メイン セットアップ メニューを開く

5. マルチメディア ファイルの再生

次のセクションでは、LaCie LaCinema Rugged をテレビに接続して使う場合の異なるメニュー オプションの概要を説明します。

LaCie LaCinema Rugged の電源を入れると、数秒後に [Main Menu (メイン メニュー)] が表示されます。このメニューでは、次の 4 つのメディアから選択できます。

❖ Movies (ムービー)
❖ Music (音楽)
❖ Photos (写真)
❖ All Media (すべてのメディア)

技術面での注意:LaCinema がハード ディスクのスキャンを行います。スキャンの所要時間は、ディスク上のファイル数によって異なります。

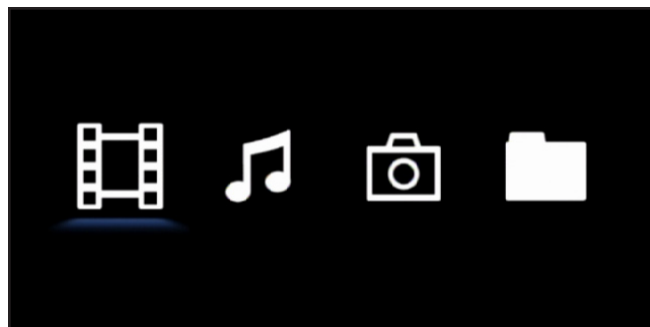



図 5

5.1. Movies Menu (ムービー メニュー)

ナビゲーション ボタンを使ってメニューをスクロールできます。選択を確定してメニューに入るには、[Play　(再生)] ボタンを押します。

このメニューには、LaCie LaCinema Rugged にアップロードしたビデオ ファイルがすべて表示されます。

ムービー ファイルと認識されたファイルのみが表示されます。音楽および写真ファイルは表示されません。すべてのファイル タイプを表示するには、[Browser (ブラウザ)] メニューを選択します。

[Up (上)] と [Down (下)] ボタンを使用してムービー ファイルやフォルダをスクロールし、[Right　(右)]　ボタンを使用してフォルダを開き、[Left (左)] ボタンを使用してさらに上のフォルダ レベルに移動することができます。

選択を確定するには、[Play (再生)] ボタンを押します。

最適なプレイバック体験になるようにムービーを分析する間、読み込みのアニメーションが表示されます。

技術面での注意：ファイルの長さとエンコード　パラメータによっては、ムービーの読み込みには最高 15 秒かかります。

ファイルのプレイバック中には、ムービーの情報を取得したり、いくつかのプレイバック パラメータを調節することができます。オンスクリーン メニューを表示したり終了したりするには、i ボタンを押します。

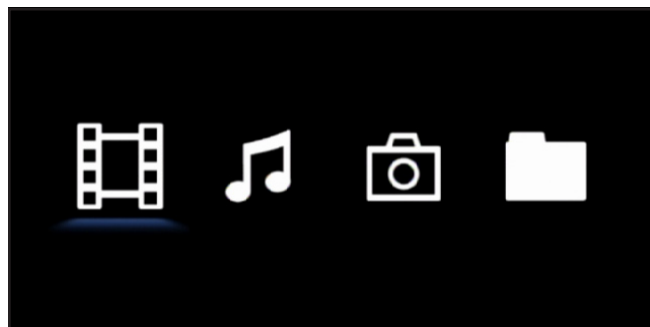



図 5.1-A

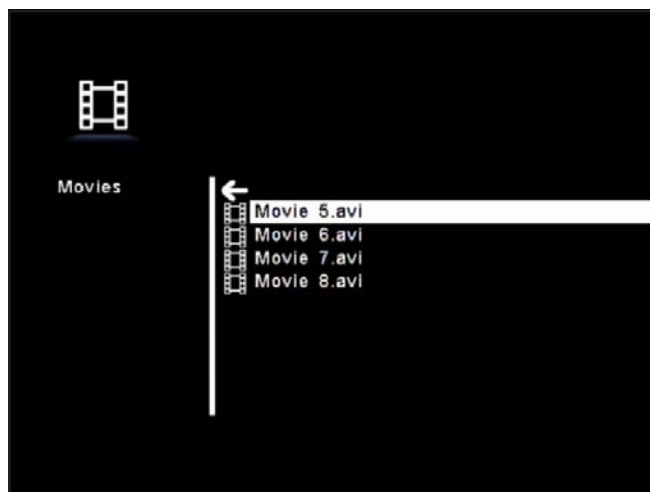



図 5.1-B

5.1.1. ファイル情報

情報画面は、ムービーおよびプレイバックの主要情報を提供します。

重要な情報:LaCie LaCinema Rugged は、著作権や IP (知的所有権) を侵害することを意図して開発された製品ではなく、そのような目的で使用することはできません。LaCie LaCinema Rugged の各ユーザーは、法的な所有権を有するまたはライセンスされている素材についてのみ LaCie LaCinema Rugged を使うものとし、その使用は所有権やライセンス権の許容範囲内に限られます。

5.1.2. Auto Bookmark (自動ブックマーク)

ムービーを中断し、再度再生する場合は、前回停止した位置から再開するか、または最初から開始するかを尋ねるメッセージが表示されます。後でプレイバックを再開できるように、最後に見たムービー 5 本がメモリに記録されます。

5.2. Music Menu (音楽メニュー)

ナビゲーション ボタンを使ってメニューをスクロールできます。選択を確定してメニューに入るには、[Play (再生)] ボタンを押します。

このメニューには、LaCie LaCinema Rugged にアップロードしたオーディオ ファイルがすべて表示されます。オーディオ ファイルと認識されたファイルのみが表示されます。ムービーおよび写真ファイルは表示されません。すべてのファイル タイプを表示するには、[Browser (ブラウザ)] メニューを選択します。

[Up (上)] と [Down (下)] ボタンを使用して音楽ファイルやフォルダをスクロールし、[Right (右)] ボタンを使用してフォルダを開き、[Left (左)] ボタンを使用してさらに上のフォルダ レベルに移動することができます。選択を確定するには、[Play (再生)] ボタンを押します。

ファイルのプレイバック中には、いくつかのプレイバック パラメータを調節することができます。オンスクリーン メニューを表示したり終了したりするには、i ボタンを押します。

スクリーンセーバー

1 分間音楽をプレイバックした後、スクリーンセーバーが表示されます。[Play (再生)] ボタンを押して [Music (音楽)] メニューを表示します。

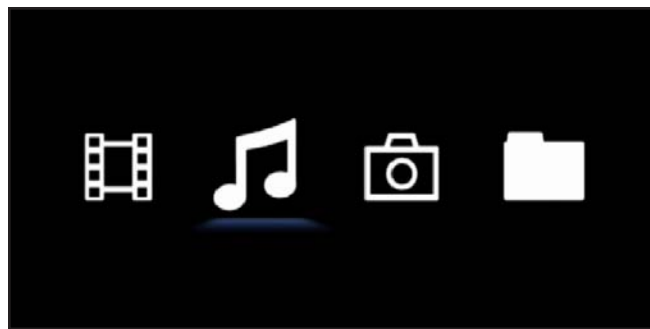



図 5.2-A

図 5.2-B

5.3. Photos Menu (写真メニュー)

ナビゲーション ボタンを使ってメニューをスクロールできます。選択を確定してメニューに入るには、[Play (再生)] ボタンを押します。

このメニューには、LaCie LaCinema Rugged にアップロードしたイメージ ファイルがすべて表示されます。メディア ファイルであると認識されたファイルのみが表示されます。ムービーおよび音楽ファイルは表示されません。すべてのファイル タイプを表示するには、[Browser (ブラウザ)] メニューを選択します。

[Up (上)] と [Down (下)] ボタンを使用して写真やフォルダのリストをスクロールし、[Right (右)] ボタンを使用してフォルダを開き、[Left (左)] ボタンを使用してさらに上のフォルダ レベルに移動することができます。選択を確定するには、[Play (再生)] ボタンを押します。

写真メニューの設定を変更するには、[Settings (設定)] メニューを使用します。

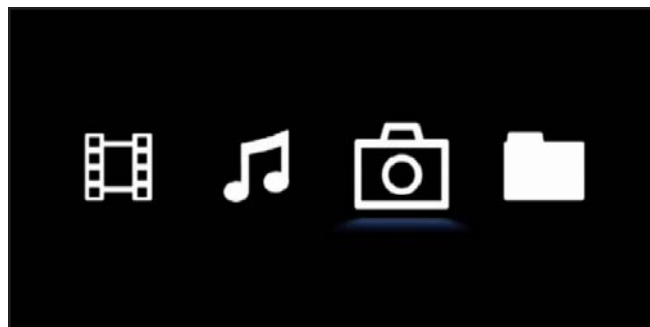



図 5.3-A

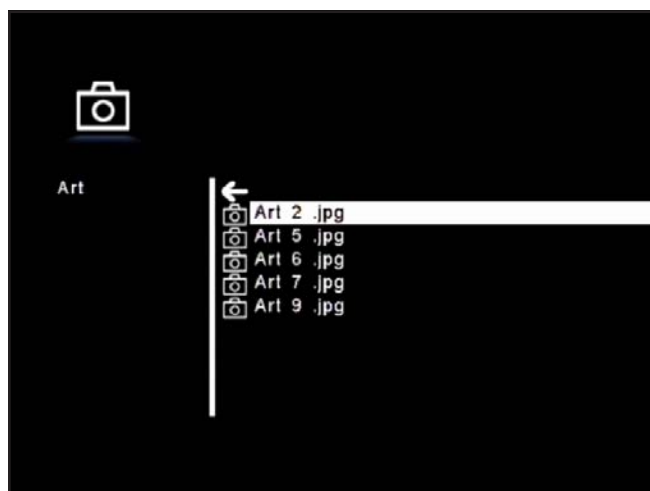



図 5.3-B

5.4. File Browser Mode (ファイル ブラウザ モード)

このメニューには、LaCie LaCinema Rugged にアップロードしたすべてのマルチメディア ファイル (ムービー、音楽などで分類されません) が表示されます。

ナビゲーション ボタンを使ってメニューをスクロールできます。選択を確定してメニューに入るには、[Play (再生)] ボタンを押します。

[Up (上)] と [Down (下)] ボタンを使用してメディア ファイルやフォルダのリストをスクロールし、[Right (右)] ボタンを使用してフォルダを開き、[Left (左)] ボタンを使用してさらに上のフォルダ レベルに移動することができます。選択を確定するには、[Play (再生)] ボタンを押します。

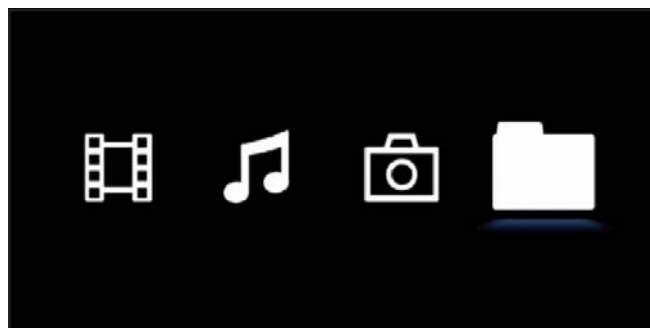



図 5.4

5.5. Setup Menu (セットアップ メニュー)

LaCie LaCinema Rugged の [Setup (セットアップ)] メニューを使って、デバイスを正しく設定およびカスタマイズすることができます。

[Up (上)] [Down (下)] ボタンを使って [Setup (セットアップ)] メニューをスクロールできます。

セットアップ カテゴリで使用可能なオプションを表示するには、 [Right (右)] ボタンを押します。選択を確定するには、[Play (再生)] ボタンを押します。すべての変更は、自動的に保存されます。

画面にメイン メニューを表示するには、[Setup (セットアップ)] ボタンを押します。[Setup (セットアップ)] メニューが表示されているときには、再生が自動的に一時停止されます。

[Up (上)] と [Down (下)] ボタンを押して、必要なセットアップを選択し、[Play (再生)] ボタンを押して確定入力します。[Left (左)] と [Right (右)] ボタンを押してサブメニューを選択し、その後 [Play (再生)] を押します。

別のオプションを選択するには、[Left (左)] ボタンを押して前のメニューに戻ります。画面上のセットアップ メニューを終了するには、[Setup (セットアップ)] ボタンをもう一度押します。

5.5.1. Audio Out (オーディオ アウト)

アナログ – LaCinema Rugged が赤と白のアナログ オーディオ コネクタで標準のテレビ セットまたはステレオに接続されている場合はアナログを選択します。

デジタル – LaCie LaCinema Rugged がオプティカルまたは同軸コネクタでオーディオ システムに接続されている場合はデジタルを選択します。

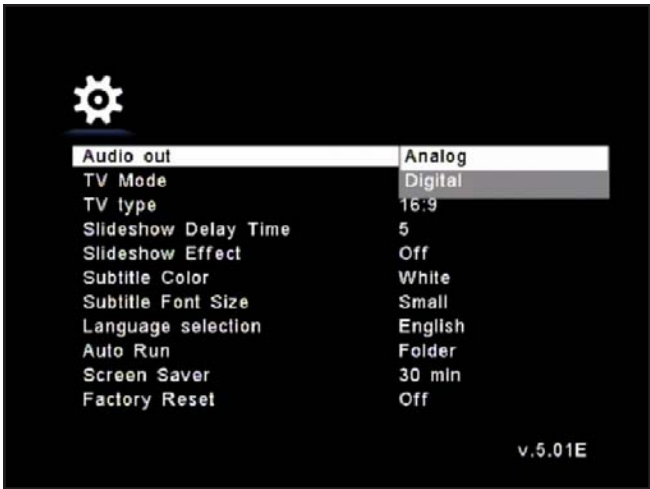



図 5.5.1

5.5.2. TV Mode (テレビ モード)

❖ NTSC C/SVhs (NTSC コンポジット、S-Video):アメリカ、韓国、日本でのテレビ方式

❖ PAL C/SVhs (PAL コンポジット、S-Video):ヨーロッパ諸国でのテレビ方式

❖ HDTV/480p – コンポーネント(YpbPr) 出力:これは、この接続に対応する HDTV 用です。

❖ HDTV/720p – コンポーネント(YpbPr) 出力:これは、この接続に対応する HDTV 用です。

❖ HDTV/1080i - これは、この接続に対応する HDTV 用です。

図 5.5.2

5.5.3. テレビの種類

❖ 4 : 3 レターボックス:標準の 4:3 テレビを使用している場合このオプションを選択します。ワイド画面 (レターボックス) のムービーを再生する場合、画面の上側および下側にマージンがあります。

❖ 4 : 3 パン & スキャン:標準の 4:3 テレビを使用している場合このオプションを選択します。画像は、画面の高さに応じて調整されます。

❖ 16 : 9 ワイド: ワイド画面の 16:9 テレビを使用している場合このオプションを選択します。

図 5.5.3

5.5.4. その他の設定

❖ スライドショー遅延時間: スライドを変更する間隔を 5 秒～60 秒の範囲で設定します。

次のページに続く

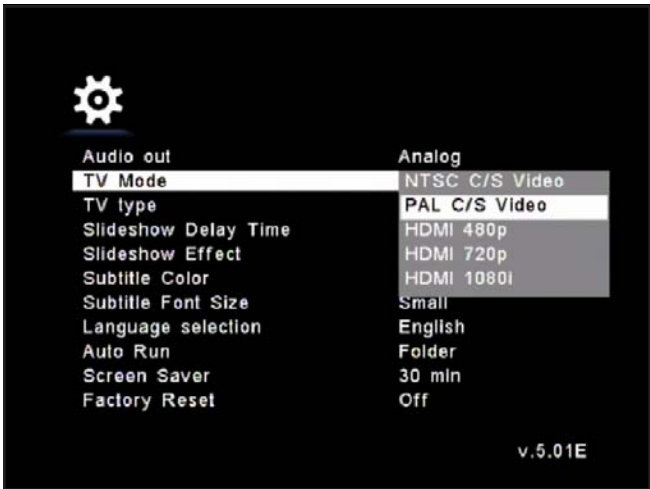
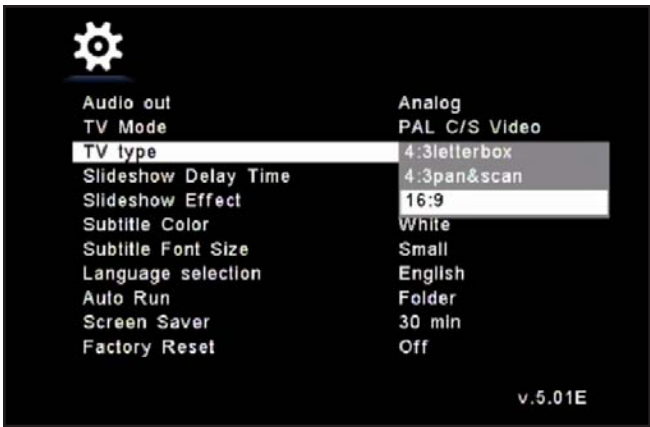
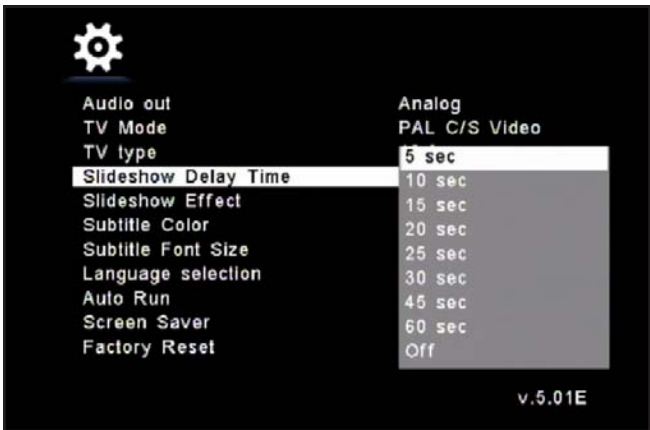



図 5.5.4-A

❖ スライドショーの効果:
- フェード – 現在の画面をフェードアウトし、次の画面をフェードインします。
- オフ – 画面間の転移効果はありません。

❖ 字幕の色: 字幕の色を白、黄、または緑に設定します。

❖ 字幕のフォントサイズおよび字幕オフ
- 大 – 字幕サイズが大に設定されます。
- 小 – 字幕サイズが小に設定されます。
- オフ – 字幕は表示されません。

次のページに続く

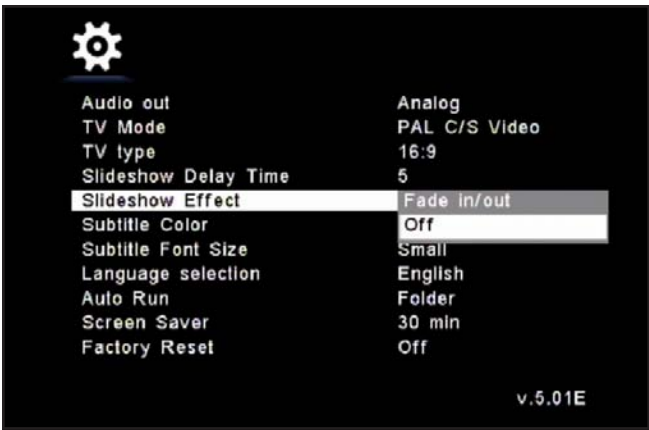



図 5.5.4-B

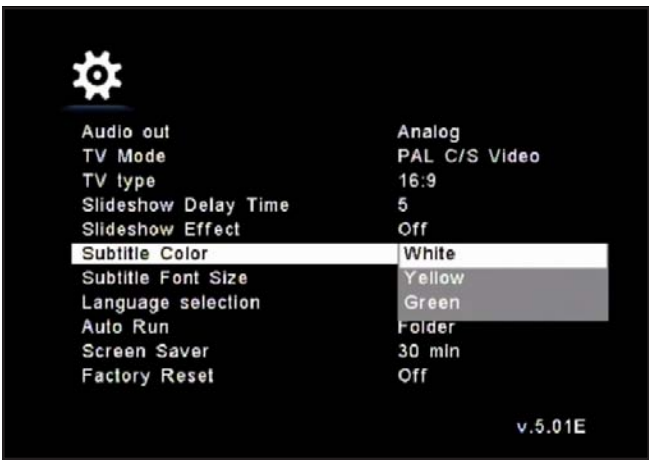



図 5.5.4-C

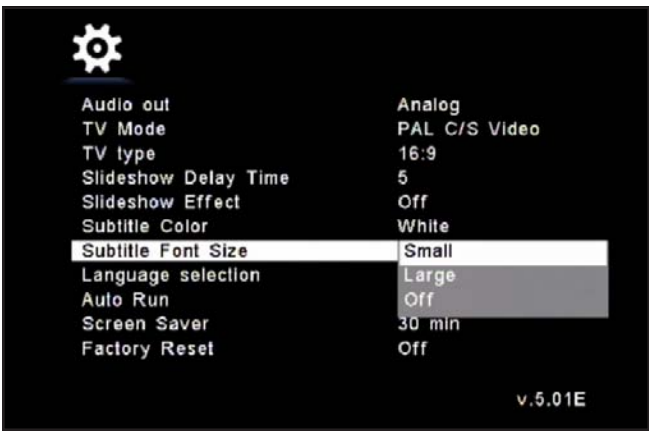



図 5.5.4-D

❖ 言語の選択:システム言語を英語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、またはスペイン語に変更します。東欧を選択すると、システム言語を英語で、字幕を東欧の言語で表示します。

❖ Auto Run (自動実行):

- ファイル – 選択した曲だけを再生します。
- ファイル (リピート) – 選択した曲を繰り返し再生します。
- フォルダ – 選択したフォルダ内のすべてのファイルを順番に再生します。
- シャッフル – 選択したフォルダ内のすべてのファイルをランダムに再生します。
- マイ ミュージック – テレビがない場合、mymusic フォルダのすべての音楽ファイルは再起動後、自動的に再生されます。

❖ Osd の背景:

- デフォルト – 元の背景を使用します。

❖ Factory Reset (工場出荷時の設定にリセット): オンを選択すると LaCie LaCinema Rugged が、すべて工場出荷時のデフォルトの値にリセットされます。

図 5.5.4-E

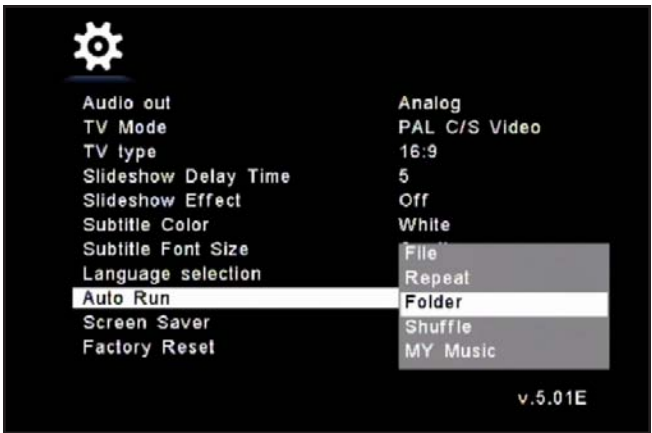



図 5.5.4-F

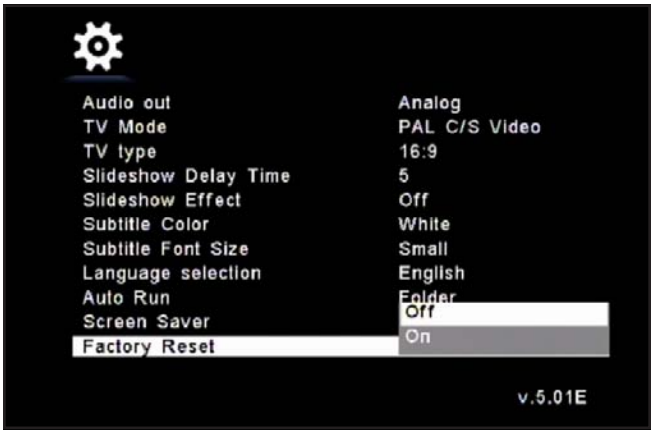



図 5.5.4-G

5.6. ファームウェアのアップデート

LaCie LaCinema Rugged では、[Update] フォルダにダウンロードされたファームウェア アップデートを読み込むことで、ファームウェアを更新できます。

ファームウェアをアップデートするには、次の手順に従います。

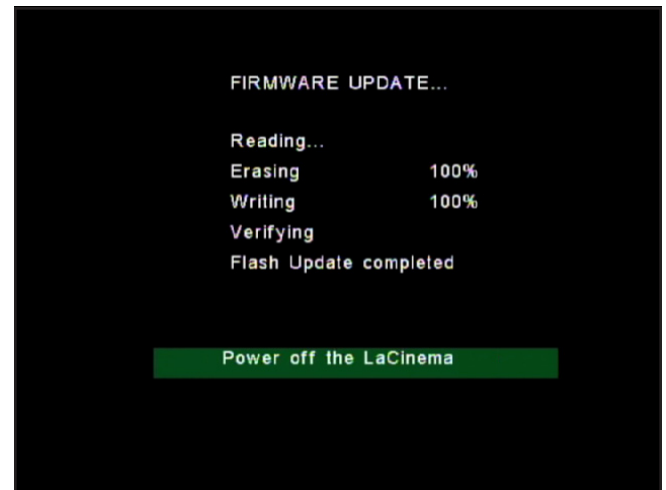
1. www.lacie.com/support にアクセスして、[Downloads (ダウンロード)] リンクをクリックします。
2. 最新の LaCinema Rugged ファームウェア ダウンロードを選択します。LaCie LaCinema Rugged をコンピュータに接続します。ダウンロードしたファームウェア ファイルを LaCinema Rugged の [Update] フォルダにドラッグします。LaCinema Rugged をコンピュータから取り外し、テレビに接続します。
3. メイン メニューから [Browser (ブラウザ)] 表示に移動します。
4. [Update (更新)] フォルダを選択し、[OK] ボタンを押して開きます。
5. lacieLaCinema Ruggedfw.bin ファイルを選択し、[OK] ボタンを押します。ファームウェアの更新が開始されます。
6. ファームウェアの更新が 100% 完了して「Power Off Player …(プレーヤーの電源を切ってください...)」というメッセージが表示されます。製品の背面の AC アダプタ ジャックを抜いて LaCie LaCinema Rugged の電源を切ります。
7. 新しいファームウェアを使用して製品を再起動するには、電源ジャックを再接続して LaCie LaCinema Rugged の電源を入れます。

注意:ファームウェアのアップデート処理中には、LaCie LaCinema Rugged の電源をオフにしないでください。電源を切ると、ハード ディスクが損傷することがあります。何らかの理由 (更新中の電源障害など) によってこの手順が失敗した場合、LaCie LaCinema Rugged を使用できなくなる場合があります。詳細については、LaCie 販売代理店または LaCie カスタマー サポートにお問い合わせください。

図 5.6

6. LaCie LaCinema Rugged の再フォーマット

6.1. Windows をご使用の方

重要な情報:FAT32 または NTFS 以外のファイル システムでディスクを再フォーマットしないでください。ディスクがこれ以外のフォーマット (たとえば HFS+ など) でフォーマットされていると、ファイルがテレビ画面に表示されません。詳細については、「1.4.LaCinema Rugged の外観」を参照してください。

Windows 2000、Windows XP、Windows Vista を実行しているコンピュータでは、次の 2 つの手順に従います。(1) ハード ディスクにシグネチャをインストールし、(2) ディスクをフォーマットします。これらのステップにより、ディスク上にあるものすべてが消去されます。

注意:この手順に従うと、LaCinema Rugged から全データが消去されます。保護する情報や今後も使用する情報がある場合は、手順を実行する前にバックアップを取ってください。

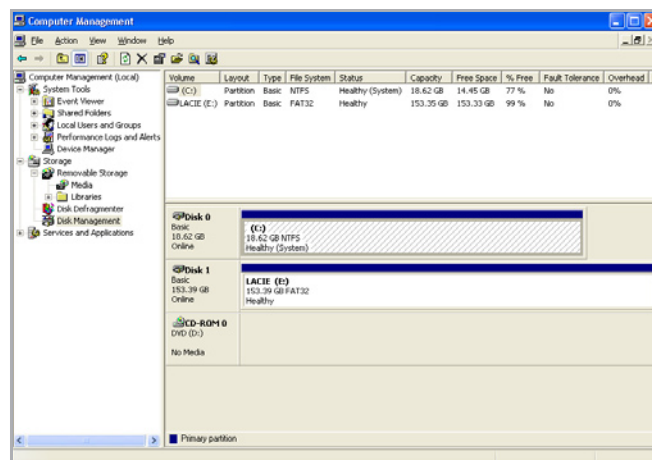
1. インタフェース ポートを介して、ハード ディスクをコンピュータに接続します。
2. [マイ コンピュータ] を右クリックし、[管理] を選択します。
3. [コンピュータの管理] ウィンドウから [ディスクの管理] を選択します ([ディスクの管理] は、[記憶域] グループの下にあります)。図 6.1-A を参照してください。
4. [ディスクの初期化と変換ウィザード] ウィンドウが表示されたら、[キャンセル]をクリックします。
5. システムにインストールされているハード ディスクが一覧表示されます。 アイコンで表わされたハード ディスクを探します。アイコンを右クリックし、[初期化] を選択します。
6. [未割り当て] と書かれた右側のボックスで、右クリックして [新しいパーティション…]
7. [新しいパーティション ウィザード] の最初のページで、[次へ] をクリックします。図 6.1-A を参照してください。

(次のページに続く)

図 6.1-A

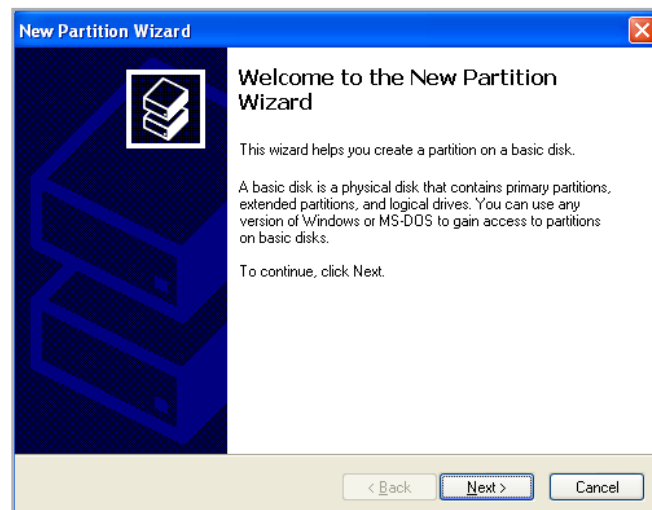



図 6.1-B

8. [次へ] をクリックします。
9. [次へ] をクリックします。
10. [次へ] をクリックします。
11. [次へ] をクリックします。
12. [パーティションのフォーマット] ウィンドウで、[クイック フォーマット] を選択します。[次へ] をクリックします。

重要な情報:ディスクは、FAT32 以外のファイル システムに再フォーマットしないでください。FAT32 以外のフォーマット (たとえば HFS+ など) にフォーマットされていると、ファイルがテレビ画面に表示されません。

図 6.1-C

13. [完了] をクリックして、フォーマットを開始します。
14. Windows ディスク管理機能により、設定に従ってハード ディスクのフォーマットとパーティションが行われます (図 6.1-D)。ディスクが [マイ コンピュータ] に表示されると、使用準備が整います。

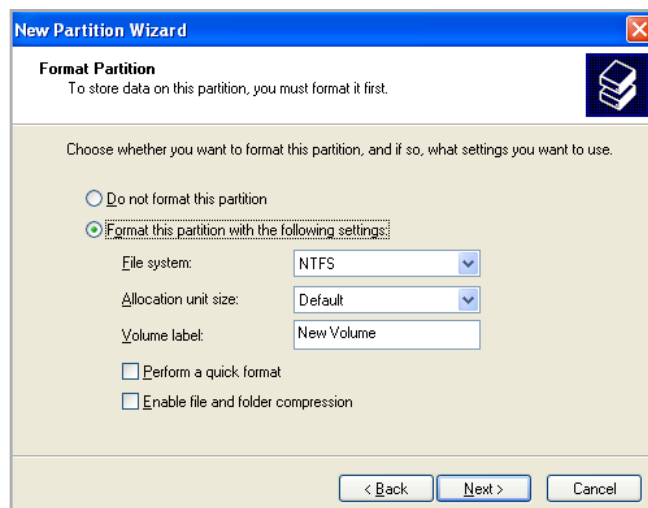
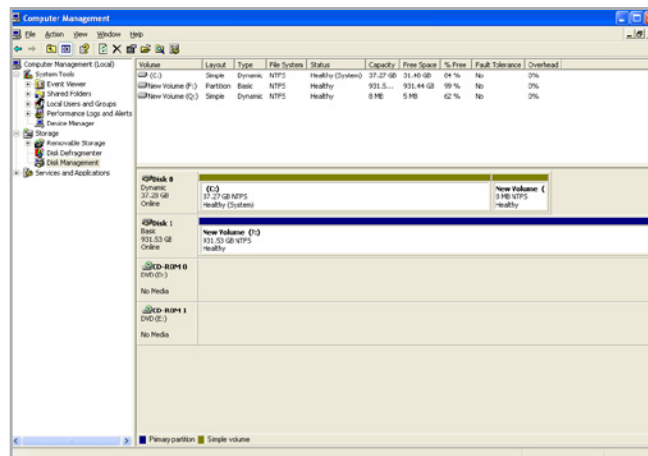



図 6.1-D

6.2. Mac をご使用の方

注意:この手順に従うと、LaCinema Rugged から全データが消去されます。保護する情報や今後も使用する情報がある場合は、手順を実行する前にバックアップを取ってください。

重要な情報:FAT32 または NTFS 以外のファイル システムでディスクを再フォーマットしないでください。ディスクがこれ以外のフォーマット (たとえば HFS+ など) でフォーマットされていると、ファイルがテレビ画面に表示されません。詳細については、「1.4.LaCinema Rugged の外観」を参照してください。

1. ハード ディスクをコンピュータに接続し、ハード ディスクをオンにします。
2. Finder メニュー バーの[移動] メニューから[ユーティリティ] を選択します。
3. [ユーティリティ] フォルダで、[ディスク ユーティリティ] をダブル クリックします。
4. ディスク ユーティリティ ウィンドウが開きます。ウィンドウの左側にある利用可能なハード ディスクのリストから LaCie Hard Disk というラベルの付いたボリュームを選択します。
5. [パーティション] タブを選択します。
6. [ボリューム スキーム：]メニューでハード ディスクを分割するパーティションの数を選択します (Mac OS X では、最大 16 パーティションまで分割できるようになっています)。[ボリュームの方式：] 領域にあるパーティション間のスライド バーを使用すれば、パーティションのサイズをカスタマイズできます。
7. [ボリューム情報] のセクションで、各ボリューム (パーティション) の名前を入力し、ボリューム フォーマットを選択します。
8. ボリュームのオプション設定が完了したら、[パーティション] をクリックします。警告メッセージが継続して表示される場合は、再度 [パーティション] をクリックします。
9. Mac ディスク ユーティリティで、設定に従ってハード ディスクのフォーマットとパーティションを行います。これでハード ディスクの使用準備が整います。

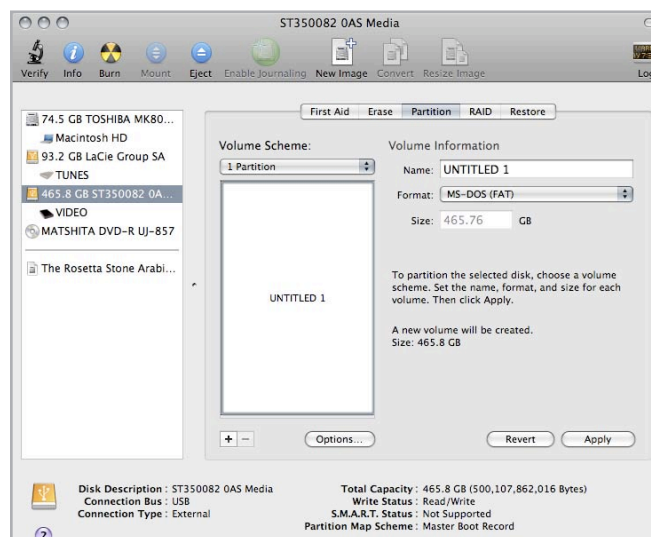



図 6.2

7. 技術情報

7.1. XviD の互換性

LaCie LaCinema Rugged には XviD フォーマット (ISO、MPEG-4 準拠のビデオ コーデック) に完全に対応しており、この圧縮フォーマットでエンコードされたすべてのビデオを再生できます。

7.2. データ転送の最適化

データ転送とは、タスクを完了するデータの流れで、通常ストレージからコンピュータの RAM へ、またはストレージ デバイス間でデータを移動することを意味します。LaCie LaCinema Rugged などの外付けハード ディスクを使用すると、データは USB インタフェースを介してディスクからコンピュータに転送されます。データは本機器の USB ポートを介して送られ、USB ホストバス アダプタ インタフェースを介してコンピュータに渡されます。

USB

新たに機能強化された Hi-Speed USB 2.0 のパフォーマンスを引き出すには、コンピュータに Hi-Speed USB 2.0 ホスト バス アダプタ カード (別売、またはコンピュータ メーカーによってシステムに統合されている) および適切なドライバが必要です。1 個以上の USB ポートを装備するこれらのホスト バス アダプタ カードは、コンピュータがカードを制御できる特別な Hi-Speed USB 2.0 ドライバを付属の上、出荷されています。ポートに接続された USB 2.0 デバイスを正常な速度で動作させるために、これらのドライバを必ずインストールしてください。

Windows XP および Windows Vista を実行するコンピュータは、自動的に Hi-Speed USB 2.0 デバイスを管理しますが、Windows 98 SE および Windows Me では、Hi-Speed USB 2.0 デバイスを取り付ける前にドライバをインストールする必要があります。

Mac OS 9.x は、Hi-Speed USB 2.0 の機能をサポートしていません。すべての Hi-Speed USB 2.0 デバイスは、初代 USB 仕様で機能します。Mac OS 10.2.7 以降では、Hi-Speed USB 2.0 をサポートしています。Hi-Speed USB 2.0 PCI または PC カードの詳細については、LaCie 販売代理店または LaCie カスタマー サポートにお問い合わせいただくか、当社 Web サイトwww.lacie.com/jp をご覧ください。

---

8. トラブルシューティング

LaCie LaCinema Rugged が正常に機能しない場合は、次のチェックリストを参照し、問題の原因をご確認ください。チェックリストの内容をすべて確認しても LaCinema Rugged が正常に動作しない場合は、当社 Web サイト www.lacie.com/jp に公開されている FAQ をご一読ください。FAQ の中から質問の回答が見つかる場合があります。また、ダウンロード ページもご覧ください。最新のソフトウェア アップデートを入手できます。さらに詳しいサポートが必要な場合は、LaCie 販売代理店または LaCie テクニカル サポート (「9. カスタマー サポートへのお問い合わせ」を参照) までご連絡ください。

マニュアルの更新

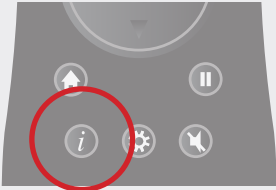
LaCie では、市場の先端を行く包括的なユーザー マニュアルをお届けできるよう、常に努めています。新しいデバイスを迅速にインストールしてさまざまな機能を利用できるように役立つ、フレンドリーで使いやすいフォーマットをお客様に提供することが、当社の目標です。

お買い求めになられた製品の構成がマニュアルに記載されていない場合は、当社 Web サイトをご覧いただき、入手可能な最新のバージョンのマニュアルをご確認ください。

www.lacie.com

8.1. トラブルシューティング:Mac をご使用の方

問題	質問	回答
コンピュータがデバイスを認識しない。	ハード ディスクのアイコンがコンピュータに表示されていますか。	LaCie ハード ディスクのアイコンがデスクトップに表示されているはずです。デバイスが表示されない場合は、この後に記載されているトラブルシューティングのヒントをすべて読んで、問題を解決してください。
	お使いのコンピュータは、本製品を使用するための最低システム要件を満たしていますか。	「1.1.システム要件」を参照してください。
	ハード ディスクに電源が接続されていますか。	電源が正しく接続されているかどうかを確認してください (「2.1LaCinema Rugged をコンピュータに接続する」を参照)、さらに電源のコンセントが機能していることを確かめます。
	インタフェースと OS に適した手順でインストールを行いましたか。	「2.1.LaCie LaCinema Rugged をコンピュータに接続する」のインストールのステップを再度確認してください。
	USB ケーブルの両端がしっかりと取り付けられていますか。	必ず LaCie で提供されている USB ケーブルを使用してください。USB ケーブルの両端を調べ、両端がそれぞれのポートに正しく取り付けられていることを確認してください。ケーブルを取り外し、10 秒経ってから再度接続してください。それでもハード ディスクが認識されない場合、コンピュータを再起動して、もう一度接続し直してください。
	その他のデバイスドライバまたは機能拡張とコンフリクト (競合) していませんか。	LaCie テクニカル サポートにお問い合わせください。
	お使いのコンピュータの OS では、ファイルシステムがサポートされていますか。	詳しくは、コンピュータのマニュアルをチェックし、「 7. LaCinema Rugged の再フォーマット」を参照してください。
Mac OS 10.x でエラー メッセージが表示される。	FAT 32 (MSDOS) ボリュームへのコピー中、「Error –50」というメッセージが表示されましたか。	ファイルまたはフォルダを Mac OS 10.x から FAT 32 ボリュームにコピーすると、特定の文字はコピーされません。コピーされない文字には次のようなものがありますが、これだけには限りません。 ? < > / \ : ファイルとフォルダを調べ、このような文字が使われていないことを確認してください。

問題	質問	回答
Hi-Speed USB 2.0 を介して接続しても、デバイスの実行速度が速くならない。	Mac OS 9.x で使用していますか。	Mac OS 9.x. 環境においては Hi-Speed USB 2.0 規格はサポートされていません。したがって、初期 USB 規格の遅い転送速度に制限されます。詳しくは、「7.4.データ転送の最適化」を参照してください。
	デバイスは、コンピュータの標準の USB ポートに接続されていますか。	ハード ディスクがコンピュータの標準の USB ポートに接続されている場合、問題ありません。Hi-Speed USB 2.0 デバイスは Hi-Speed USB 2.0 ポートに接続されたときにのみ、Hi-Speed USB 2.0 のパフォーマンス レベルで動作します。Hi-Speed USB 2.0ポートまたはハブに接続されていない場合は、Hi-Speed USB 2.0 デバイスは遅い USB の転送速度で動作します。詳しくは、「7.4.データ転送の最適化」 および 「1.5.ケーブルおよびコネクタ」を参照してください。
	デバイスはコンピュータの Hi-Speed USB 2.0 ポートに接続されていますか。	ホスト バス アダプタとデバイスの両方に Hi-Speed USB 2.0 ドライバが正しくインストールされているかどうかを確認してください。不確かな場合は、ドライバをアンインストールして、再度インストールしてください。また、コンピュータの Hi-Speed USB 2.0 ポートに直接接続されていることを確認してください。
	ご使用のコンピュータと OS は、Hi-Speed USB 2.0 に対応していますか。	「1.1.システム要件」 および「 7.4.データ転送の最適化」を参照してください。

8.2. トラブルシューティング:Windows をご使用の方

問題	質問	回答
コンピュータがデバイスを認識しない。	デバイスはフォーマットされていますか。	ディスクが正しくフォーマットされているかどうかを確認してください。詳細は、「7.LaCinema Rugged の再フォーマット」を参照してください。
	お使いのコンピュータの OS では、ファイル システムがサポートされていますか。	詳細については、お使いのコンピュータの取扱説明書を確認し、「6.LaCinema Rugged の再フォーマット」を参照してください。
	[マイ コンピュータ] にデバイスのアイコンが表示されていますか。	[マイ コンピュータ] を開き、デバイスのアイコンとそのデバイスに割り当てられているドライブ文字を探します。デバイスが表示されない場合は、この後に記載されているトラブルシューティングのヒントをすべて読んで、問題を解決してください。[マイ コンピュータ] を開き、デバイスのアイコンとそのデバイスに割り当てられているドライブ文字を探します。デバイスが表示されない場合は、この後に記載されているトラブルシューティングのヒントをすべて読んで、問題を解決してください。
	お使いのコンピュータは、本製品を使用するための最低システム要件を満たしていますか。	「1.1.システム要件」を参照してください。

問題	質問	回答
コンピュータがデバイスを認識しない。	ハード ディスクに電源が接続されていますか。	電源が正しく接続されているかどうかを確認してください (「2.2LaCinema Rugged をコンピュータに接続する」を参照)、さらに電源のコンセントが機能していることを確かめます。
	インタフェースと OS に適した手順でインストールを行いましたか。	「2.2.LaCie LaCinema Rugged をコンピュータに接続する」のインストールのステップを再度確認してください。
	USB ケーブルの両端がしっかりと取り付けられていますか。	USB ケーブルの両端を調べ、両端がそれぞれのポートにきちんと取り付けられていることを確認してください。ケーブルを取り外し、10 秒経ってから再度接続してください。それでもハード ディスクが認識されない場合、コンピュータを再起動して、もう一度接続し直してください。
	その他のデバイス ドライバまたは機能拡張とコンフリクト (競合) していませんか。	LaCie テクニカル サポートにお問い合わせください。
Hi-Speed USB 2.0 を介して接続しても、デバイスの実行速度が速くならない。	デバイスは、コンピュータの標準の USB ポートに接続されていますか。	ハード ディスクがコンピュータの標準の USB ポートに接続されている場合、問題ありません。Hi-Speed USB 2.0 デバイスは Hi-Speed USB 2.0 ポートに接続されたときにのみ、Hi-Speed USB 2.0 のパフォーマンス レベルで動作します。Hi-Speed USB 2.0ポートまたはハブに接続されていない場合は、Hi-Speed USB 2.0 デバイスは遅い USB の転送速度で動作します。詳しくは、「7.4.データ転送の最適化」 および「1.5.ケーブルおよびコネクタ」を参照してください。
	デバイスはコンピュータの Hi-Speed USB 2.0 ポートに接続されていますか。	ホスト バス アダプタとデバイスの両方に Hi-Speed USB 2.0 ドライバが正しくインストールされているかどうかを確認してください。不確かな場合は、ドライバをアンインストールして、再度インストールしてください。また、コンピュータの Hi-Speed USB 2.0 ポートに直接接続されていることを確認してください。ハブに接続されている場合、LaCie LaCinema Rugged は正しく動作しません。
	ご使用のコンピュータと OS は、Hi-Speed USB 2.0 に対応していますか。	「1.1.システム要件」 および「 7.4.データ転送の最適化」を参照してください。

8.3. トラブルシューティング:テレビ/ステレオの接続

問題	質問	回答
ファームウェアのバージョンを確認したい。	使用中の LaCie LaCinema Rugged のファームウェアのバージョンを確認する方法がありますか。	ご使用の LaCie LaCinema Rugged に現在インストールされているファームウェアを確認するには、LaCie LaCinema Ruggedをテレビに接続し、リモコンを使用して [Settings (設定)] メニューを表示します。[Settings (設定)] メニューの左上にファームウェアのバージョンが表示されます。
	新しいファームウェアを入手してインストールする方法がありますか。	詳細については、「5.5.ファームウェアのアップデート」または www.lacie.com/jp を参照してください。

画像が表示されない。	すべてのケーブルが正しく接続されていますか。	すべてのケーブルが正しく接続されていることを確認します。コンポジット A/V ケーブルを使用している場合、コンポーネント ケーブルが同時に差し込まれていないことを確認してください。「4. LaCie LaCinema Rugged をテレビおよびステレオに接続する」を参照してください。
画像がモノクロ表示される。または、画像が表示されない。	LaCie LaCinema Rugged のビデオ設定は正しいですか。	ビデオ設定でエラーが発生した場合、正しい画像が表示されるまでリモコンで i ボタンを押します。画像が表示されたら、[Settings (設定)] メニューを表示して、[Video Settings (ビデオ設定)] を選択します。この画面で、正しい設定を選択できます。詳しくは、「4.2.1. 基本的なボタンの機能」を参照してください。
ビデオ接続を最適化したい。	どの接続方法で、最高の品質が得られますか。	最適な品質とパフォーマンスを得るために、ビデオ接続に HDMI ケーブル (付属) を使用することをお推めします。詳細については、LaCie 販売代理店または LaCie カスタマー サービスにお問い合わせください。
LaCie LaCinema Rugged をデジタル ステレオに接続したが、音が聞こえない。	[Audio Settings (オーディオ設定)] を調節しましたか。	A/V ケーブルを使用して LaCie LaCinema Rugged をテレビに接続している場合、[Settings (設定)] メニューを表示して、[Audio Settings (オーディオ設定)] を選択します。この画面で、[Digital (デジタル)] の代わりに [Analog (アナログ)] を選択します。
写真を表示したい。	画像を読み込むのに数秒かかりますか。	ファイルのサイズによっては、写真を正しく読み込むのに数秒かかる場合があります。写真の解像度を下げるとファイル サイズも小さくなり、ファイルの読み込みを高速化できます。

9. カスタマー サポートへのお問い合わせ

カスタマー サポートへお問い合わせいただく前に

1. このマニュアルをよくお読みになり、「8. トラブルシューティング」を再度ご確認ください。

2. 問題点を明確にしてください。可能であれば、CPU 上の外付けデバイスを本製品のみにして、すべてのケーブルが正しくしっかりと取り付けられていることを確認してください。

「トラブルシューティング」のチェックリストにすべて目を通し、問題が該当しないかどうかを確認します。それでも本ディスクが正常に動作しない場合は、www.lacie.com/jp までお問い合わせください。次の情報をお手元にご用意の上で、当社へお問い合わせください。

情報	確認箇所
1. LaCie ハード ディスクのシリアル番号	デバイス背面のシール、または納品時の梱包箱にあります。
3. Macintosh/PC の機種	Mac をご使用の方:メニュー バーの Apple アイコンをクリックし、[この Mac について] を選択します。 Windows をご使用の方:[マイ コンピュータ] を右クリックし、[プロパティ] > [全般] を選択します。
4. オペレーティング システムのバージョン番号	
5. プロセッサの速度	
6. コンピュータ メモリ	
7. コンピュータにインストールされている内蔵および外付け周辺機器のメーカー名とモデル名	Mac をご使用の方:Finder メニュー バーのアップル アイコンをクリックし、[この Mac について] を選択します。[詳しい情報...] を選択します。Apple システム プロファイラが起動され、内蔵および外付け周辺機器がリストアップされます。 Windows をご使用の方: [マイ コンピュータ] を右クリックし、[プロパティ] > [ハードウェア]

9.1. Lacie テクニカル サポートの連絡先

LaCie アジア、シンガポールおよび香港 連絡先: http://www.lacie.com/asia/contact/	LaCie オーストラリア 連絡先: http://www.lacie.com/au/contact/
LaCie ベルギー 連絡先: http://www.lacie.com/be/contact/ (フランス語)	LaCie カナダ 連絡先: http://www.lacie.com/caen/contact/ (英語)
LaCie デンマーク 連絡先: http://www.lacie.com/dk/contact	LaCie フィンランド 連絡先: http://www.lacie.com/fi/contact/
LaCie フランス 連絡先: http://www.lacie.com/fr/contact/	LaCie ドイツ 連絡先: http://www.lacie.com/de/contact/
LaCie イタリア 連絡先: http://www.lacie.com/it/contact/	LaCie 日本 連絡先: http://www.lacie.com/jp/contact/
LaCie オランダ 連絡先: http://www.lacie.com/nl/contact/	LaCie ノルウェー 連絡先: http://www.lacie.com/no/contact/
LaCie スペイン 連絡先: http://www.lacie.com/es/contact/	LaCie スウェーデン 連絡先: http://www.lacie.com/se/contact
LaCie スイス 連絡先: http://www.lacie.com/cafr/contact/ (フランス語)	LaCie 英国 連絡先: http://www.lacie.com/uk/contact
LaCie アイルランド 連絡先: http://www.lacie.com/ie/contact/	LaCie アメリカ合衆国 連絡先: http://www.lacie.com/contact/
LaCie インターナショナル 連絡先: http://www.lacie.com/intl/contact/	

10. 保証について

当社は、保証書に指定されている期間内において、正常なご使用のもとで生じたすべての製造上の欠陥に対して、本製品を保証いたします。保証期間内に本製品に欠陥が見つかった場合、当社の裁量で、欠陥品を修理または交換するものとします。

次の場合は、保証が無効になります。

- 本製品を、標準外の使用環境または標準外の保守環境で使用または保管した場合
- 修理、改造、変更について当社の書面による明白な承認がないにもかかわらず、本製品を修理、改造、変更した場合
- 本製品を誤用・放置したり、落雷、電気関連の障害、荷造り不良、事故があった場合
- 本製品が不適切に設置された場合
- 本製品のシリアル番号を汚損または紛失した場合
- 破損部品が、ピックアップ トレイなど交換用パーツである場合
- 本製品のケーシングの不正開封防止シールが破られている場合

当社およびその納入業者は、本製品の使用中に起こったデータ損失、あるいは結果的に生じたいかなる問題についても責任を負いません。

当社は、いかなる場合においても、財産や設備の損傷または損失、利益または収益の損失、交換品にかかる支出、停電が原因で生じた支出または不都合など　(これらに限定されない)、直接的、特別的または間接的の如何を問わず、損害については一切責任を負いません。

本製品の使用中に生じたデータのいかなる損失、改悪、破壊は、お客様ご自身の責任であり、いかなる場合であっても当社はそのデータの回復または修復について責任を負いません。

いかなる場合でも、製品に支払われた購入価格を上回る金額を請求することはできません。

保証サービスを受ける場合は、LaCie テクニカル サポートまでご連絡ください。LaCie　製品のシリアル番号をご用意ください。また、本製品が保証期間内であることを確認するために購入を証明するものをご提示いただくことがあります。

当社に製品を返品される場合は、購入時にその製品が入っていた箱にしっかりと梱包し、送料前払いでお送りください。

重要な情報:無償のテクニカル　サポートをご利用になるには、次の　Web　サイトでオンライン登録を行ってください。www.lacie.com/jp/support/register

11. 用語集

480p – 標準精細テレビ (SDTV) の方式で、480 プログレッシブとも呼ばれます。VGA コンピュータ ディスプレイに類似しています。DVD の解像度は 480p ですが、この解像度の表示が可能になるのは、DVD プレーヤーがプログレッシブ スキャン信号を出力し、テレビにプログレッシブ スキャンまたはコンポーネント ビデオの入力がある場合のみです。

720p – 高精細テレビ (HDTV)、ATSC DTV 標準に指定された 2 つの方式の 1 つで、720 プログレッシブとも呼ばれます。この方式ではプログレッシブ スキャンが使用され、縦 720 ピクセル x 横 1,280 ピクセルで構成されます。

1080i – 高精細テレビ (HDTV)、ATSC DTV 標準に指定された 2 つの方式のもう 1 つの方式で、1080 インターレースとも呼ばれます。この方式ではインターレース スキャンが使用され、縦 1,080 ピクセル x 横 1,920 ピクセルで構成されます。

AC3 (オーディオ コーディング 3) –448キロビット/秒のビット レートで 6 個の異なるチャネルを符号化できる、高度なオーディオ圧縮技術です。

AVI (オーディオ ビデオ インターリーブ) – 様々なコーデックの組合せ (DivX® ビデオ ファイルと WMA オーディオ ファイルなど) を使用するオーディオ / ビデオの圧縮標準を含めることができるファイル形式です。DivX® – 最新の MPEG-4 圧縮標準を基に開発された新しいビデオコーデックで、形式を指定してビデオを圧縮/解凍できます。DivX® コーデックでは、LaCie LaCinema Rugged など、DivX® 対応のすべてのプレーヤーで映画を再生できます。DivX® の映画は、標準の MPEG の映画よりも圧縮性および画質が優れています。

DTS – デジタル サウンド技術。ほとんどの映画サウンドトラックで使用されている技術です。

ファームウェア – プログラマブル リードオンリー メモリの回路、または電子的に消去可能なプログラマブル リードオンリー メモリ チップに直接プログラムされた永久的あるいは半永久的命令およびデータ。コンピュータまたはテープ ドライブの動作を制御するために使用されます。RAM に記録され、修正可能なソフトウェアとは異なります。

ID3 タグ – MP3 ファイルの埋め込みタグで、曲名、アーティスト名およびアルバム タイトルを通知します。このタグは編集可能です。

MPEG (Motion Picture Experts Group) – MPEG-1 (ビデオCD)、MPEG-2 (DVDおよびスーパー ビデオCD) および MPEG-4 (DivX3、WMV) ビデオ圧縮標準の開発者グループ。MPEG グループでは、MP3 および AAC オーディオ圧縮標準の開発も行っています。

NTSC (National Television Standards Committee) – 合衆国でテレビ放送の送信および受信に使用される一連のプロトコルの開発を行っているグループ。NTSC 画像は 1 フレームあたり 525 本の水平線で構成され、左から右、上から下の方向にインターレースされます。NTSC 信号には、コンピュータ システムとの直接的な互換性はありません。

PAL (Phase Alternation Line) – ヨーロッパで一般的に使用されているアナログのテレビ表示です。PAL 画像は 1 フレームあたり 625 本の水平線で構成され、色の定義が NTSC 標準とわずかに異なります。

VOB (Video OBjects) – DVDの映画を格納する方式です。1 つの VOB ファイルに多数のビデオ/オーディオ/サブ画像ストリームが格納されます。サブ画像ストリームは、DVD およびその他の VOB ファイルの字幕を参照します。これらの字幕は、主画像ストリームにオーバーレイされるビデオ ストリームで、オン/オフを切り替えることができます。

WMA (Windows Media Audio) – オーディオのストリーミングおよび圧縮用に Microsoft® 社によって開発されたオーディオ形式です。

XviD – MPEG-4 圧縮標準を基にした、DivX® に非常によく似たビデオ コーデックです。このビデオ コーデックはオープンソースで、現在、世界中で開発が行われています。XviD コーデックでは、LaCie LaCinema Rugged など、XviD 対応のすべてのプレーヤーで映画を再生できます。